

指定校番号	28112	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立高西中学校	校長	西田 俊徳	生徒指導主事	土生 和之
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『生徒の自己指導能力を育成する体育大会』

取組のねらい『キーワード：リーダー育成』

- (1) 体育大会で縦割りを取り入れ、生徒の主体性を育成する。
 - ① 異年齢の集団の中で、上級生が下級生の見本となり引っ張っていく。
 - ② リーダーを育成していく。
- (2) 生活習慣「時を守り 場を浄め 礼を正す」を身につけさせる。
 - ① 練習の集合時間に遅れない。
 - ② 教室内の整理整頓をし、服は畳んで机上には物を置かない。
 - ③ 元気なあいさつができる。
- (3) 「チーム高西」の意識をもって、全員の力で行事をつくる。
 - ① 縦割りのチームや全校が、1つになって取り組んでいく。
 - ② 教職員が役割分担を明確にし、同じ方向を向いて指導を行う。

取組の具体的内容『キーワード：やり直し』

- (1) 生徒会執行部、実行委員、各種目リーダーを中心とした練習をさせる。
 - ① 練習では「始めの会」と「終わりの会」を行い、生徒会があいさつや指示・評価をする。
(あいさつなど充分でない場合は、やり直しをさせる)
 - ② 練習は、縦組みや学年、種目のリーダーを中心に指示や指導を行う。
(リーダーがやり直しの指示をする)
 - ③ 練習後は、リーダーによる反省会を行う。
(よかったところと直すところを確認し、明日の練習に繋げていく)
- (2) 練習始めの集合までを大切にする。
 - ① 教室は、整理整頓し服を畳んでグラウンドに集合する。
(学年の教員で見て回って、できていなかったら呼んでやり直しをさせる)
 - ② 立腰・黙想・あいさつを徹底する。
(きちんとできていなかったら、やり直しをさせる)

取組の課題・創意工夫『キーワード：待つ』

- (1) 今まで、教員主導・学年対抗でやってきただけに、どう動いたらいいか生徒にイメージがなく、リーダーは戸惑いもあり、練習がはかどらなかった。
- (2) リーダーが大勢の前で、大きな声を出して堂々と指示・指導ができない。
- (3) 練習の初期は、集合や指示まで時間がかかり、スムーズに練習ができなかったが、すぐに教員が出て行くのではなく、できるだけ『見守る姿勢』を心がけることにした。
- (4) 教員とリーダーが、細かい打ち合わせをする時間が必要である。
- (5) 教員の意識を変えるために、繰り返し話し合いを行った。

取組の成果（効果）『キーワード：徹底』

- (1) 3日目から、整理整頓ができ集合がスムーズにいくようになった。
- (2) 練習の後期では、リーダーが大きな声で指示・指導するようになった。
- (3) 教員の意識が同じ方向を向き、同じ指導ができた。
- (4) 生徒の事後のアンケートによる満足度82%
- (5) 保護者のアンケートによる肯定的な評価93%と高かった。

今後の展開『キーワード：場を作る』

- (1) 生徒会や学級委員などが、活躍できる場を増やしていく。
 - ① 学年朝会や学年行事などで、生徒が発表する場面、指示・指導する場面をつくっていく。
 - ② 生徒会活動を、活性化させていく。
- (2) 生徒が意欲的に取り組めるようにさせる。
 - ① 肯定的な評価を積極的にしていくことで、自信をつけて意欲を引き出す。
 - ② 準備に時間をかけて、みんなの前でやるときに恥をかかせない。

他校へのアドバイス『キーワード：自己存在感』

- (1) 生徒と打ち合わせをすることによって、意識も変わっていく。
- (2) あせらず「待つ」ことにより、生徒に「自分たちでやろう」とする意識が芽生える。
- (3) できたこと・頑張ったことは、しっかりほめ、評価する。